

また、これらの道路は多くの樹々があるところではないので、舗装の、桜に対する影響も測ることができません。

この夏のような異常な猛暑の中では、どのような舗装であれ、ヒートアイランド現象を引き起こしてしまいます。地球温暖化が進むとヒートアイランド現象はさらに酷くなると言われています。

それでは「地道」のまま、なおかつその「弱点」を解決できる道はないのでしょうか？

探しました！ありました！！ 賀茂川の植物園横にある「半木(なからぎ)の道」です。調査のため、あえて雨が降った後に見ましたが、水たまりができる事もなく、多くの歩行者が歩いても凹むこともなく、車イス、自転車が通っても問題がなく、ヒートアイランド現象を起こすこともない、まさに求める『新しい地道』でした。



私たちは現実に「地道」として機能する「半木(なからぎ)の道」を視てきて、「舗装化」の前に『新しい地道』という可能性の模索を強く望んでいます。



どんな生き物にも(子どもも大人も犬もランナーも車椅子の方もホタルにも…)、何よりも桜をはじめとする植物にも優しく、そしてたとえ車が通っても通行に支障のない『新しい地道』を作れたら、地元の、京都の大きな財産として残せるのではないのでしょうか。

皆様のご意見をお聞かせください。

哲学の道保勝会  
連絡先TEL/fax 075-761-1944